

アジア・太平洋研究センター主催

経済学部共催

研究会



Part-time employment in Australia and Japan

報告者：岸 智子（南山大学教授）

現在、世界的に雇用形態の多様化が進み、雇用者に占めるパートタイム労働者の比率が高くなっています。その中で、とくに日本ではパートタイム労働者と正社員との賃金格差が顕著であると言われています。実際はどうなのでしょう？ 本研究では、パートタイム労働者と正社員の賃金格差や労働時間の違いなどをオーストラリアと日本とで比較します。

報告では、オーストラリアと日本のパネルデータに基づく計量分析の結果についてお話しします。まず、オーストラリアと日本のパネルデータとその違いを整理し、次いでそれぞれのパネルデータを用いた分析（固定効果推定、変動効果推定、ハウスマン検定など）の結果を示します。最後に、計量分析の結果からどのようなことが言えるかをまとめます。

日 時：2008年10月29日（水）

17：00～19：00

場 所：南山大学名古屋キャンパス

J棟1F 特別合同研究室（Pルーム）

お問い合わせ

連絡先：南山大学アジア・太平洋研究センター

住 所：〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地

電 話：052-832-3111（内線3428・3429）

E-mail：cfas@ic.nanzan-u.ac.jp